

2024

隣保館だより

10月号



NO. 371

発行・編集

鹿沼市隣保館

鹿沼市万町 931-1

Tel.0289-64-4776



ウェルフェア in かぬま 2024 & 福祉と人権のつどい【中止】

10月27日（日）開催予定の『ウェルフェア in かぬま 2024 & 福祉と人権のつどい』につきましては、イベント会場が衆議院議員総選挙の投票所となるため、中止にさせていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。



11月は児童虐待防止推進月間

「児童虐待に関する法律」が2000年11月に施行されましたが、児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、子どもの生命が奪われる重大な事件も年間60件も起きており深刻な状況が続いています。

児童虐待は早期に解決すべき問題であり、子どもの「命」と「権利」そしてその「未来」は社会全体で守らなければなりません。子ども家庭庁は、毎年11月に「オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン」を実施し、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり児童虐待に関する深い関心と理解を得る事ができるよう、期間中に児童虐待防止のための広報、啓発活動など様々な取り組みを集中的に実施します。

子どもの虐待防止は、児童相談所や市町村など公的機関だけで行えるものではありません。私たち一人一人が「子育てにやさしい社会」をつくるのが子どもの虐待の防止につながります。

※オレンジリボン運動とは、2004年9月小山市で二人の幼い兄弟が、父の知人に暴力を受けたうえ、橋の上から落とされ亡くなった痛ましい事件がありました。その事件をきっかけに小山市の「カンガルーOYAMA」が子どもの虐待防止を目指して、2005年にオレンジリボン運動を始めました。2006年からは、認定NPO法人「児童虐待防止全国ネットワーク」が総合的な窓口を担い、全国的にオレンジリボン運動として活動を広げています。

児童相談所虐待対応ダイヤル 189（いちはやく）
通話料無料（24時間365日対応）



パドル体操

9月12日（木）、第7回高齢者ふれあい事業「パドル体操」を行いました。講師は福田美枝先生で参加者は25名でした。

パドル体操は、しゃもじの形をした運動補助具を使うことで、体の可動範囲を広げることが出来る運動。はじめに深呼吸の方法として、鼻から吸い、口からゆっくりと吐くことを学んだあと、硬くなった体を軽くストレッチしながら、パドルで叩いてほぐしていきます。体がほぐれてきたところで、音楽のリズムに合わせて体操を行いました。

老化防止につながる筋肉の強化は大切で、筋肉が強いほど健康寿命が延び、何歳からでも筋肉は増え筋肉の貯金は一生の財産。筋力アップの体操を交えながら1時間強、体を動かしました。日頃の運動の大切さを学び、いつまでも健康でいられるよう一生懸命取り組んでいました。



日帰りバス研修



9月27日（金）、毎年恒例の高齢者ふれあい事業「日帰りバス研修」を実施しました。参加者は20名でした。

午前中は茨城県五霞町にあるキューピー五霞工場で施設見学。キューピーの歴史やマヨネーズの秘密などの説明を聞いた後、映像鑑賞でマヨネーズの製造過程や持続可能な経済活動などを学びました。次に見学者用のコースから割卵工程などの製造ラインを見学。最後にさまざまな種類のドレッシングとサラダの試食を楽しみました。

昼食を挟み、埼玉県幸手市の県営権現堂4号公園で自然観察会。この公園は広大な敷地に、四季折々の花が咲き誇り、この時期は曼珠沙華が満開のはずでしたが、猛暑の影響で全体的には三分咲き程度でした。参加者の皆さんは、秋の気配を感じながら、ゆっくり遊歩道を散策していました。